

【不祥事根絶に向けた本校の決意】(行動基準)

使命 私たちは、子どもを守り、育てます。
 遵法 私たちは、法令を遵守します。
 公正 私たちは、不祥事を許しません。
 公開 私たちは、地域に開かれた学校にします。

令和6年度 不祥事根絶のための行動計画

呉市立昭和北中学校
 作成責任者 校長 九十九 尚志

区分	本校の課題	行動目標	取組内容	点検方法・時期
教職員の規範意識の確立	<ul style="list-style-type: none"> ○服務研修が、当事者意識を十分に高める内容にするために内容・方法を工夫する。 ○服務規律研修計画の立案及び管理職以外が担当する研修の実施が不十分である。 ○高い危機管理意識を維持するための取組をさらに充実したものにしていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ○服務研修の方法や内容等を見直し、より体験的な研修を実施して研修効果が実感できるようにする。 ○管理職以外の教職員に担当させ、計画的に服務規律研修を実施する。 ○日常的に情報を全教職員で共有するとともに教育公務員としての自覚ある言動を常に意識する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○教職員を対象に服務研修に係るアンケート調査を行い、方法や内容等を改善する。 ○服務規律研修計画を立案し、担当者を指定する。 ○職員朝会で情報を全教職員で共有するとともに、通知等を確実に伝達するとともに、研修プリントを作成しタイムリーな研修を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○学期に1回、服務研修についてのアンケート調査を行う。 ○研修記録を作成し、市教委に報告する。 ○毎朝、職員朝会プリントを作成する。研修プリントを市教委に提出する。
学校組織としての不祥事防止体制の確立	<ul style="list-style-type: none"> ○教職員個人の技量・意識に依存しがちである。 ○「本校にかぎって」という意識を解消する。 ○非常勤職員とのコミュニケーションをさらに活性化させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○教職員同士のコミュニケーションをさらに促進し、組織で仕事を進めることができるようにする。 ○割れ窓理論を意識し、不祥事を許さない職場環境づくりを行う。 ○非常勤職員との報告・連絡・相談を日常的に行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○企画委員会で互いの仕事の進捗状況を確認し、特定の者に負担がかからないよう集団でサポートする体制をつくる。 ○チェックシートを活用し、教職員の実態把握を行う。 ○非常勤職員に研修資料等を配布するとともに、日々のコミュニケーションを活性化させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○週に1回、企画委員会で情報交換を行い、状況を把握する。 ○学期に1回チェックシートを活用し確認する。 ○企画委員会、職員会議等で状況確認をする。
相談体制の充実	<ul style="list-style-type: none"> ○「体罰、セクシュアル・ハラスメント相談窓口」のさらなる機能化を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「体罰、セクシュアル・ハラスメント相談窓口」の周知を繰り返し行い、相談しやすい体制をつくる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○学校だよりで保護者等に周知するとともに、校舎内全ての教室にポスターを掲示し、担当の教職員を明示する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○学期末に生徒、保護者及び本校教職員を対象にアンケートを実施する。